

平成24年度 市長と語る会 （鶴里町）

日 時 11月2日 19:30~20:20

場 所 鶴里公民館2階ホール

参加者 33名

<事前質問及び回答>

質問	昨年も要望したが、土岐市南消防署濃南分駐所を、24時間体制にさせていただくよう、再度要望する。
回答	以前より要望をいただいておりますが、検討しているが、1つの分駐所を運営するのに10人の消防職員が必要となり、現状の体制では難しい。また、財政的にも難しいことから、ご理解いただきたい。

<意見及び市長の回答>

意見	濃南分駐所の24時間化について、財政状況が厳しく職員数も簡単に増やせないのは分かるが、人の命を守ることであるため、本気で取り組んでいただきたい。これまでに消防の職員定数を増やしてきた経緯もあり、計画を立てて何年か先にでもお願いしたい。
回答	市の現況は財政的に厳しい状況であるが、必要な投資はしていく必要があると考えている。これまで職員数を減らしてきたこともあり、消防職員だけを増やしていくことも難しい。消防の広域化の話もあり、広域化により消防の拠点が分散する恐れもある。近いところに拠点ができるように色々な方法を検討していきたい。
意見	鶴里小学校と曾木小学校の統合について、地元では教育の環境を良くし、土岐市を担っていく子どもを育てていきたいという思いで了承している。地元で協力できることはさせていただくので、先を見据えて進めていただきたい。
回答	建設予定地となる濃南中学校周辺を見させていただいたが、フェンスや国旗掲揚塔など老朽化しており、何とかしたいと考えている。必要な整備については要望していただければ、できる範囲で対応させていただく。 また、濃南地区「夢と絆の集い」の際に、濃南小学校への足の確保としてスクールバスのお話が出されたが、地域の声を聞きながら前向きに検討させていただく。
意見	妻木から西ノ平工業団地へつながる鷺ヶ巣線について、用地は済んでいると思うが整備は進んでいない。土岐市から豊田市へのアクセスも良くなり、市の活性化につながると思われるので、整備をお願いしたい。また、国道363号の柿野バイパスについては現在C工区が進んでおり、円滑に進むようお願いしたい。
回答	市内には手をつけたもののそのままになっている道路が多くある。用地の問題もあるが、財源がないため実施できない事業もある。最近では国の補助金も半減しており、県も厳しい財政状況であるが、財源が確保できるようになれば手をつけていきたいと考えている。柿野バイパスについては県の事業であるが、用地取得など市もバックアップさせていただく。
意見	濃南小学校について、説明会では建設場所を現在の濃南中のグラウンドやプールの辺りといった案を示されたが、国道の近くであり、ダンプも多数往来している。市の財政状況が厳しい中で建設に着手していただけるのはありがたいが、一旦建設すると50年近くは使用することになるため、土地の購入等も含め、子どもにとって最適な学習環境となるよう考えていただきたい。
回答	造成に必要な土地や取得の難しい土地などは時間を要するため、できる限り早期に着手し、学習環境を良くするため、可能な範囲内で最善の方法を決めていきたい。
意見	高齢化が進む中、鶴里町には病院もなく、消防も24時間体制ではない。何とかまちを活性化させ、若い世代が住める環境、子どもを増やすことができる環境の整備をお願いしたい。
回答	まちの活性化の課題は、鶴里町や曾木町の濃南地区だけでなく、泉の泉北団地でも見られる。一斉に同年代の世帯が入居したことで、高齢化も一斉に来ることになり、泉西小学校では児童数の減少が著しい。これは全国的な問題であるが、皆さんと知恵を出し合い課題解決に向けて頑張っていきたい。

意見	また濃南小学校のことになるが、小学校の校舎を中学校の中庭につくるなど、先を見据えて小中一貫校にするといった考えはないか。
回答	体育館や特別教室などは共同で利用することで施設を有効に活用できると考えており、隣接したほうが良いと考えるが、校舎の配置などは専門家も交え、担当課と地元の意見をあわせて進めていきたいと考えている。
町内 会長	2回目の市長と語る会となるが、参加された方はまだ遠慮している。本日は意見をあまり出されなかったが、後から出された意見についてはまとめて提出させていただく。市長と直接対面し、話を聞いたり意見を言える機会はあまりないため、今後もこの会を続けていただきたい。市長をはじめ市の関係者は鶴里の現状を見て、状況を理解していただいた上で市政を進めていただきたい。